

福山 護



概要

氏 名 福山 護 (ふくやま まもる)
住 所 鹿本郡鹿本町大字御宇田962-1
主な活動地 鹿本町

(生活文化活動部門)

福山護氏は、昭和五十九年から瓢箪工芸を始め、瓢箪工芸分野の全国的なリーダーとして活躍している。瓢箪の栽培方法や加工、瓢箪の表面に焼きごてを使って行うツルやクジヤク、ボタン、桜などの動植物の描写、繊細な色付けの技術などを全て独学で研究。その技術は高く評価されており、全日本愛瓢会において、平成七年度に文部大臣賞、平成八年度にNHK賞、平成九年度に宇野宗佑賞、平成十年度に農林水産大臣賞、そして平成十一年度には内閣総理大臣賞などの数々の賞を受賞したほか、昨年、全日本愛瓢会名誉顧問を務められている秋篠宮文仁殿下からお声がかかり、自作の瓢箪を献上した。

自ら瓢箪の栽培と加工を行う一方で、種々の愛瓢家への配布を行ったり、一般の方や中学生に対して講習会等を開催するなど、多くの瓢箪愛好者を育成し瓢箪工芸の普及・発展にも大きく寄与した。

現在、全日本愛瓢会常任理事及び審査委員、肥後瓢箪愛好会の会長を務めている。平成十四年度には全日本愛瓢会の本原における開催に尽力し、鹿本大会の開催を実現、地域の活性化及び熊本と全国の文化交流に貢献した。

その他、鹿本町と姉妹都市提携しているオーストラリア・クエアーズ市の使節団来訪の際には自作の瓢箪をプレゼントし、また、台湾の台中県愛瓢会との交流も行うなど、国際文化交流にも貢献しており、今後ますますの活躍が期待されている。

これまでの活動歴

昭和五十九年	知人の勧めにより瓢箪工芸、栽培を始める
(一九八四年)	以後、独自に技術を磨き、福岡県の審査会で数々受賞する
平成五年	現在の焼き絵の技法を確立
(一九九三年)	肥後瓢箪愛好会を設立、会長に就任
(一九九五年)	全日本愛瓢会において文部大臣賞受賞
平成八年	全日本愛瓢会においてNHK賞受賞
(一九九六年)	
平成九年	全日本愛瓢会において宇野宗佑賞受賞
(一九九七年)	
平成十年	全日本愛瓢会において農林水産大臣賞受賞
(一九九八年)	
平成十一年	全日本愛瓢会において内閣総理大臣賞受賞
(一九九九年)	以後、無審査作品出品
鹿本中学校において瓢箪栽培加工指導	
平成十三年	全日本愛瓢会の使節団として台湾で交流
(二〇〇二年)	水辺プラザかもちにおいて瓢箪栽培開始
平成十四年	第二十七回全日本愛瓢会を鹿本町にて開催。実行委員会委員長を務める。
(二〇〇二年)	全国の瓢箪愛好者に滋賀県長浜町にて指導を行う